

事業所における自己評価結果（放デイ）

公表：令和 3年 月 日

事業所名： いっぽのひかり

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			基準以上のスペースがあり、機能別に部屋が分る。
	②	職員の配置数は適切である	4	1		基準に応じた配置。その日の利用人数に応じて対応
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1		トイレや部屋の段差はなく、バリアフリー化して
業務改善	④	業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	5			
	⑤	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	2	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図る為に、標準化されたアセスメントツールをしようしているか	4	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			屋内外での活動や、運動・制作・ゲームなど固定化しない
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	4	1		平日、長期休暇と利用時間に合わせて、可能な活動の計
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	5			
		支援開始前には職員間で必ず				

	⑮	打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			毎日、朝礼を行い、支援内容や引継ぎ等の情報をまうにしている。
適切な支援の提供	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2		必要に応じて振り返りや支援の在り方を話すように
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			メモを取るなどして、丁寧に記録できるようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	1		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1		
関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1		毎週、LINEを利用して、時間割の写メをご家族から送って。学校によっては、事業所用の時間割を準備して頂ける何かトラブル等があった場合は、学校と連絡をとったり、木員を介して連携を図っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	1	2	1	該当なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	1	現在の受け入れ学年で、就労支援へ繋がる年齢の利用!
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		1	研修の機会がなかった。
関係機関や保護者との連携	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	1		法人内のこども園や学童との交流を図っている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3		2	担当職員が参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1		保護者の送迎時やLINE等を通じて、利用児の状況を丁寧に。必要に応じて、写真や動画も送っている。
		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族				

保護者への説明責任等	②9	虐待防止、保護者に対して多岐な支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	1		年間で計画し、対応している。
	③0	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	5			契約時に行っている。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	4	1		相談があった場合は、面談を設定するなどして応じている。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。		1	4	父母の会の発足はない。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	4	1		ご意見箱の設置はしているが、これまでに投稿されない。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	4	1		毎月1回発行している。
	③5	個人情報の取り扱いに十分注意している。	5			書類は決まった場所に保管され、不要な書類はシュレッツしている。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達の為の配慮をしている。	3	2		
非常時の対応	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。		2	3	コロナの影響もあり、計画できていない。
	③8	緊急時の対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	3	1	1	委員会の設置はできている。会の開催はこれかていく。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	5			長期休暇を活用して計画、実施している。
	④0	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	5			必要に応じて対応している。
	④1	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有している。	1	1	3	用紙はあるが、活用されていない。
	④2	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	5			年に1回事業所内研修を行っている。
	④3	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	3	1	1	身体拘束の事例はないが、概要については契約時いる。

分かれてい

ふ。

いる。

ように工夫し

画を立てて

も有できるよ

している。

もらって
いることもある。
日談支援専門

見がない。

寧に伝えてい

丁寧に対

たことはな

レッダーで

から実施し

に説明して